



令和5年6月
浜松市立赤佐幼稚園

さつまいものつるさしをしたよ

6月中旬。幼稚園の畑、プランターにさつまいもの苗を植えました。種類はシルクスイート。食べる姿を想像すると、収穫予定の10月がとても待ち遠しく感じます。どんな形や大きさのおいもがどれだけでできるか、どんな味になるかがとても楽しみです。



質、それとも量？

苗の植え方には、垂直に植える方法と斜めや横に植える方法があります。植え方により、さつまいものでき方が変わるようです。どう違うかと言うと・・・

- ① 垂直に植える・・・丸くて短いお芋になる。個数は少なめ。甘味が凝縮。
- ② 斜めや横に植える・・・細長いお芋で、個数は多めにできる。

当初は教師間の確認で済ませるつもりでしたが、「子供ならどう考えるだろうか？」そんな興味・関心が発端となり、担任から年長・年中組の子供たちに尋ねてみました。すると、思いはそれぞれ。どちらかと言えば②を選んだ子が多くいたようです。収穫量は少なくとも美味しさをとるか、それとも収穫の量をとるか、この間にももちろん正解はありません。どちらだってよいのです。ちなみに私たち教師は、美味しさ重視で絶対①がいいと思いましたよ。(笑)



クラスでまとめてどちらか一択にまとめることはしていません。子供の手で植えたので、①あるいは②できちんと植えられたか微妙なところもありますし、幼稚園の畑ですから無事に収穫できるかは本当に未知数です。ひょっとしたら思うようにならないかもしれませんが、これも自然が相手なのでありのままを受け止め、その時の子供の思いに共感したいと思います。



自分で考え、決める体験

どちらがよいか考える機会をもったことは、子供たちが自ら考えて決断したりすることにつながったかと思います。また、さつまいもに対する想像を膨らませて期待を抱くことにもつながったように思います。



ほっこり！ 自分たちでなべなべ～

ある日のこと、廊下で年少組さんが自分たちで「なべなべそこぬけ」を遊んでいました。下の写真は、そのときの様子です。



♪なべなべそこぬけ～
♪そこがぬけたら・・・

♪かえりま・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・

あれ・・・・？
からまっちゃった？

いいところまで行き、あともう少しで出来そうだったんですが、惜しかった！ でも、子供たちの中に残念そうな感じは全くなく、むしろ絡まって面白い状態になったことや友達と関わって遊んでいることを楽しんでいるような様子でした。見ていて、ほっこりする場面でした。

「なべなべそこぬけ」は、もともとリズム運動の中で取り入れている遊びの1つでしたが、それが自由な時間の中で、自分たちの遊びとして取り入れられていることがうれしく思いました。園生活がスタートしてまだ2、3カ月足らずの年少組さん。子供同士の関わりが少しずつ増え、同じ場で同じことをして楽しむ姿が見られるのは、園生活が安定している証でもあります。これから関わりをさらに広げていく子供の様子を見届けて行きたいと思います。

自分たちで目標を立てて

6月、年長組の子供たちがゆっくりと竹馬に取り組み始めています。教師がせかす訳ではありません。「この日までに乗らなければいけない」ということもありません。竹馬に乗るための巧技台を用意しておく、興味・関心を持った子が自ら取り組んでいます。

こつを掴み、あともう少しで出来る手応えを感じている子は、失敗してもあきらめずに頑張っていました。竹馬は個の取組ですが、友達同士で支え合い励ます姿もあり、みんなで取り組むことの良さを感じます。今は取り組んでいなくても友達の姿は見えているはずで、「いつかきっかけがあれば・・・」と期待しているところです。

そんな中、A子さんは、「山に登れるようになりたい」と自分の目標を見出し、間もなく頂上まではたどり着きました。ところが、そこで降りてしまったときに再び乗ることや山を下ることの難しさを課題と感じたようです。山の頂に巧技台を置く案も話題になりましたが、本人なりに思案した結果、ふもとから出発したときは途中で失敗しないようにし、そのまま下っていく目標を立てたようです。自ら課題に向き合い、新たな目標を立てて取り組む、年長組ならではの育ちを垣間見ました。頑張っしてほしいと思います。

